

# 生野区地域防災計画

令和8年4月

生野区役所

## 目 次

はじめに .....	1
------------	---

### 第1章 災害想定

---

---

1 自然災害	
(1)地震、液状化.....	2
(2)津波 .....	5
(3)河川氾濫 .....	6
(4)高潮 .....	7
(5)避難情報 .....	7
(6)内水氾濫 .....	10
(7)強風による災害 .....	10

### 第2章 防災・減災の基本理念

---

---

1 基本理念.....	11
2 責務と役割の明確化 .....	11

### 第3章 災害に備える

---

---

1 地震に対する備え.....	12
(1)地震から身を守るため .....	12
2 風水害に対する備え.....	13
(1)風水害から身を守るために.....	13
(2)風水害時に避難する時は.....	14
3 火災に対する備え .....	15
4 自主防災組織の確立による地域防災力の向上.....	15
5 地域特性をふまえた災害リスクへの対応 .....	16
6 多様な主体による参加・参画推進.....	16
7 企業・学校・社会福祉施設等の取り組む防災.....	16
8 きずなネット.....	17
9 区役所等が取り組む防災.....	17

### 第4章 災害時の応急対策

---

---

1 自分や家族の身を守る.....	18
(1)地震が起きたら ～ 自宅にいるとき ～ .....	18
(2)地震発生直後 揺れがおさまったら ～自宅にいるとき ～.....	18
(3)災害発生時の外出中の心構え .....	18

(4)地震火災や二次被害を防ぐために	19
2 隣近所の助け合い	19
3 事業者等が取り組む対策	19
4 避難	20
(1)避難情報	20
(2)在宅避難	20
(3)避難場所と避難所	20
(4)避難所の開設・運営	21
(5)避難所での生活	22
5 災害時における区役所の活動	23
(1)職員動員計画	23
(2)組織体制	24
(3)災害情報の収集・広報	25
(4)避難行動要支援者に関する対策	25
(5)帰宅困難者対策	25
(6)ボランティアの調整	25
(7)遺体対策	25
(8)広聴	25
(9)罹災証明等	25

## はじめに

1995年(平成7年)1月の「阪神・淡路大震災」や2011年(平成23年)3月の「東日本大震災」、2024年(令和6年)1月の「能登半島地震」等、大規模な地震が相次いで発生し、近い将来、東海・東南海・南海地震や、これらが連動した南海トラフにおける巨大地震が発生するといわれています。

さらに地震だけでなく近年は各地域で台風や豪雨等、様々な自然災害が発生し、今まで以上に災害に対する備えが必要となっています。

生野区では、いつ起こるか分からない地震や豪雨等多様化する災害に備え、「生野区地域防災計画」を策定し、様々な対策を行い、災害に強い安全なまちづくりに努めてまいります。

災害が発生した場合は、生野区内にあるまちづくり協議会を中心とした自主防災組織を中心に「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識のもと、公的機関がかけつけるまでの間、住民同士で助け合い、安否確認・救出・救護、初期消火、避難所開設の初期対応などが大変重要なこととなります。

また、これまでの大規模災害においては、行政が全ての被災者を迅速に支援することが難しいこと、行政自身が被災して機能が麻痺するような場合があることが明確になりました。(公助の限界)

そこで、公的機関としての「公助」に取組みつつ、区民や事業者の方々におかれましても、「自助」・「共助」による積極的な取組みが必要となります。

自然災害をくい止めることはできませんが、「自助」・「共助」そして「公助」の取組みが機能するよう災害に対する日頃の備えや防災訓練等を積み重ねていくことで被害を最小限にとどめる減災につながると考えます。

1 自然災害

(1) 地震、液状化

**南海トラフ巨大地震**

マグニチュード **9.0 ~ 9.1**

→ 死者 約 12 万人

※ 大部分は津波によるもので、  
避難が遅れた場合です。

(津波浸水想定は 7 ページ参照)

→ 全半壊建物 約 296,000 棟



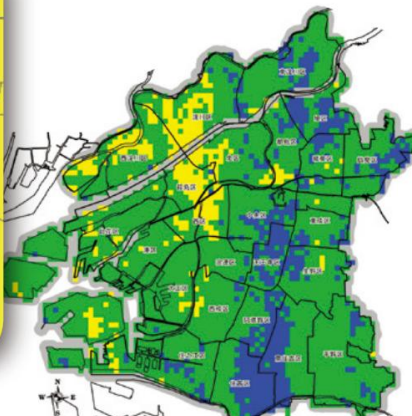
**東南海・南海地震**

マグニチュード **7.9 ~ 8.6**

発生確率 **70% 程度**

→ 死者 約 100 人

→ 全半壊建物 約 26,200 棟



**上町断層帯地震**

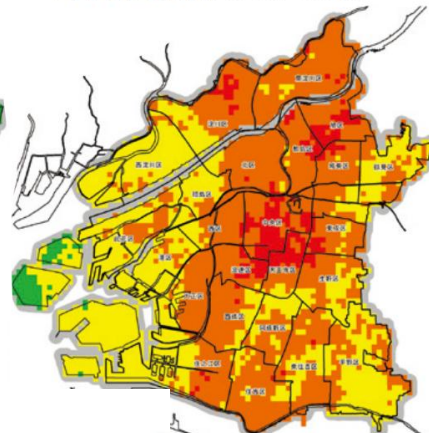
マグニチュード **7.5 ~ 7.8**

発生確率 **2 ~ 3%**

(活断層の中では発生確率の高いグループ)

→ 死者 約 8,500 人

→ 全半壊建物 約 276,700 棟



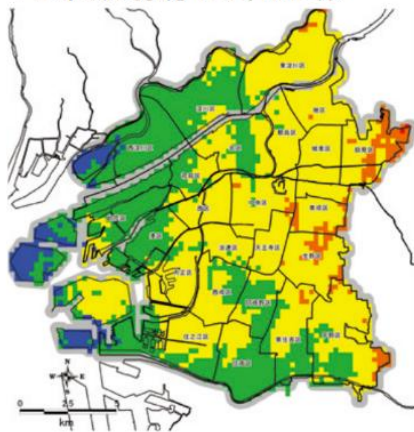
**生駒断層帯地震**

マグニチュード **7.3 ~ 7.7**

発生確率 **0 ~ 0.2%**

→ 死者 約 1,400 人

→ 全半壊建物 約 135,100 棟



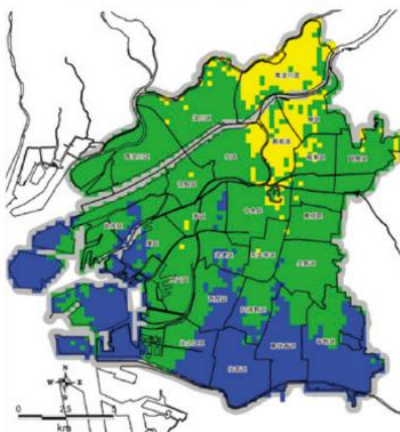
**有馬高槻断層帯地震**

マグニチュード **7.3 ~ 7.7**

発生確率 **0 ~ 0.04%**

→ 死者 約 100 人

→ 全半壊建物 約 14,400 棟



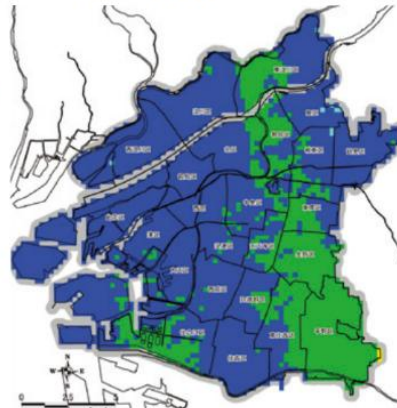
**中央構造線断層帯地震**

マグニチュード **7.7 ~ 8.1**

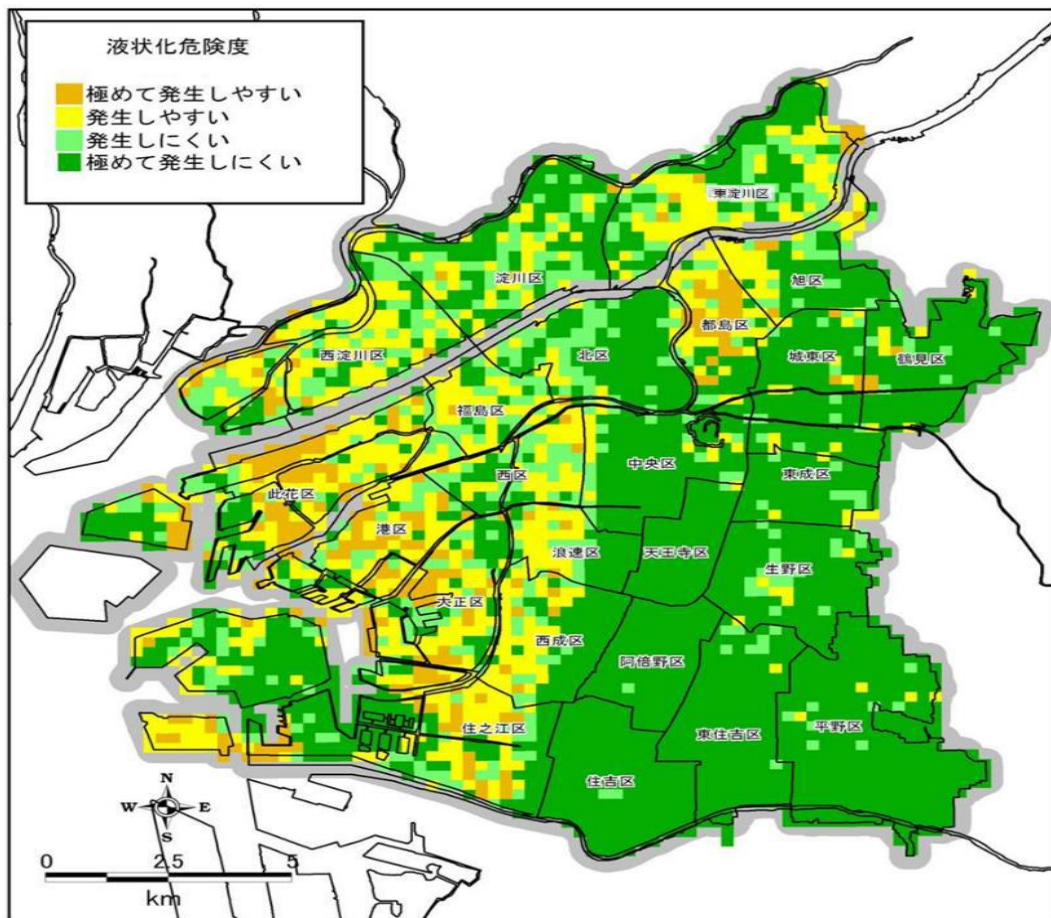
発生確率 **0 ~ 12%**

→ 死者 0 人

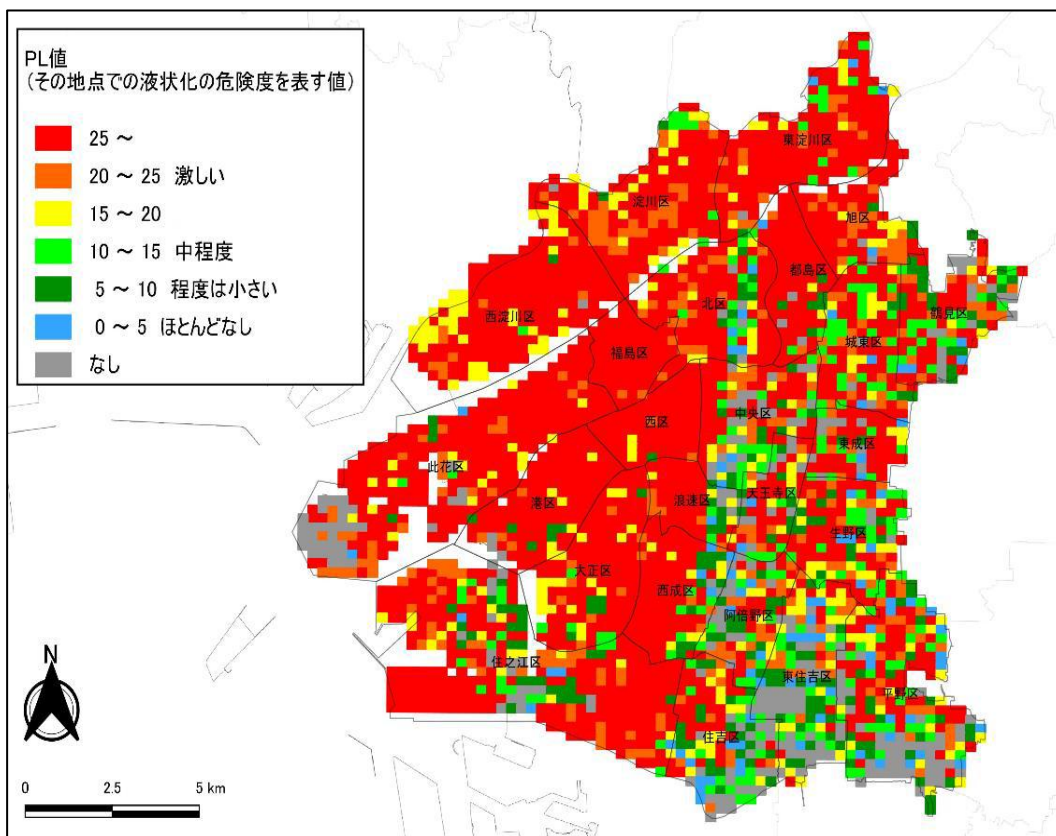
→ 全半壊建物 約 2,400 棟



### 東南海・南海地震の液状化予測



### 南海トラフ巨大地震の液状化予測



大阪市域における地震被害想定（注1）

項目		大阪市域への影響が考えられる地震						
		内陸活断層による地震				海溝型(プレート境界)の地震		
		上町断層帯地震	生駒断層帯地震	有馬高槻断層帯地震	中央構造線断層帯地震	東南海・南海地震	南海トラフ巨大地震	
地震規模(マグニチュード)		7.5~7.8	7.3~7.7	7.3~7.7	7.7~8.1	7.9~8.6	9.0~9.1	
発生確率 注2)		2~3%	0~0.1%	0~0.03%	0~14%	70~80%		
震度		5強~7	5弱~6強	5弱~6弱	4~5強	5弱~6弱	5強~6弱	
建物被害	全壊棟数	166,800	62,800	4,700	700	8,500	78,900	
	木造	145,700	58,200	4,400	600	8,000	71,100	
	非木造	21,100	4,600	300	100	500	7,800	
	半壊棟数	109,900	72,300	9,700	1,700	17,700	217,100	
	木造	82,200	59,700	8,400	1,400	15,200	164,900	
	非木造	27,700	12,600	1,300	300	2,500	52,200	
火災注3)	炎上出火							
	1日	325件	81件	4件	0	6件	—注5)	
	1時間	162件	41件	2件	0	3件	—注5)	
	残火災	6注4)	0	0	0	0	—注5)	
ライフライン被害	電力	停電率(停電軒数)	約64%(約983千軒)	約7%(約105千軒)	約1%(約10千軒)	約0.1%(約1千軒)	約2%(約26千軒)	約49%(約720千軒)
		復旧期間	約1週間	約6日	約2日	約1日	約1日	約1週間
	ガス	ガス供給停止率(供給停止戸数)	約81%(1,195千戸)	約32%(475千戸)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	約53%(約704千戸)
		復旧期間	約2~3ヶ月	約0.5~1.5ヶ月	約0.5~1ヶ月	約2週間	—	約1ヶ月注6)
	水道	水道断水率(断水人口)注7)	約45%(1,215千人)	約45%(1,215千人)	約22%(594千人)	約11%(297千人)	約20%(540千人)	約30%注8)(約848千人)
		復旧期間	約3週間	約3週間	約10日	約1週間	約1週間	約2週間注9)
	電話	固定電話不通率(不通加入者数)	約13%(約525千回線)	約2%(約64千回線)	約0.9%(約35千回線)	約0.2%(約9千回線)	0%(0)	約48%(約533万回線)
		復旧期間	約2週間	約2週間	約2週間	約5日	—	約1ヶ月
人的被害	死者	8,500人	1,400人	~100人	0	~100人	119,600人	
	負傷者	41,000人	37,800人	6,100人	900人	10,300人	53,600人	
避難所生活者		343,500人	148,300人	16,000人	3,000人	28,300人	821,200人	

(注1) 上表の数字は、概ね、大阪府自然災害総合防災対策検討委員会(平成17年度、18度)における考え方に基づくもので、大阪市内における数値を抜粋したものである。なお、南海トラフ巨大地震に係る数値については、概ね「大阪府防災会議 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会(平成25年度)」における考え方に基づくもので、大阪市内における数値を抜粋したものである。

(注2)発生確率(今後30年以内)は、文部科学省所管の地震調査研究推進本部による令和6年1月1日を算定基準日とした評価である。

(注3)火災は、冬季夕刻・風速5.3m/sで想定した。「炎上出火」は、地震後に出火した火災のうち家人、隣人等による初期消火活動で消火できずに残った火災であり、「残火災」は、炎上出火(1時間)のうち、大規模地震下で自主防災組織が機能しなかった場合を想定し自主防災組織の活動を考慮せず、公設消防のみの消火活動で消火できずに残った火災である。

(注4)自主防災組織が公設消防と協同して消火活動した場合の想定は0件である。

(注5)他の地震との想定条件が異なるため「—」と記載

(注6)ガスにおける復旧期間は供給停止戸数より全半壊戸数を除いた個数を対象としている。また、電力及びガスの想定については、それぞれ関西電力及び大阪ガスで実施されたものである。

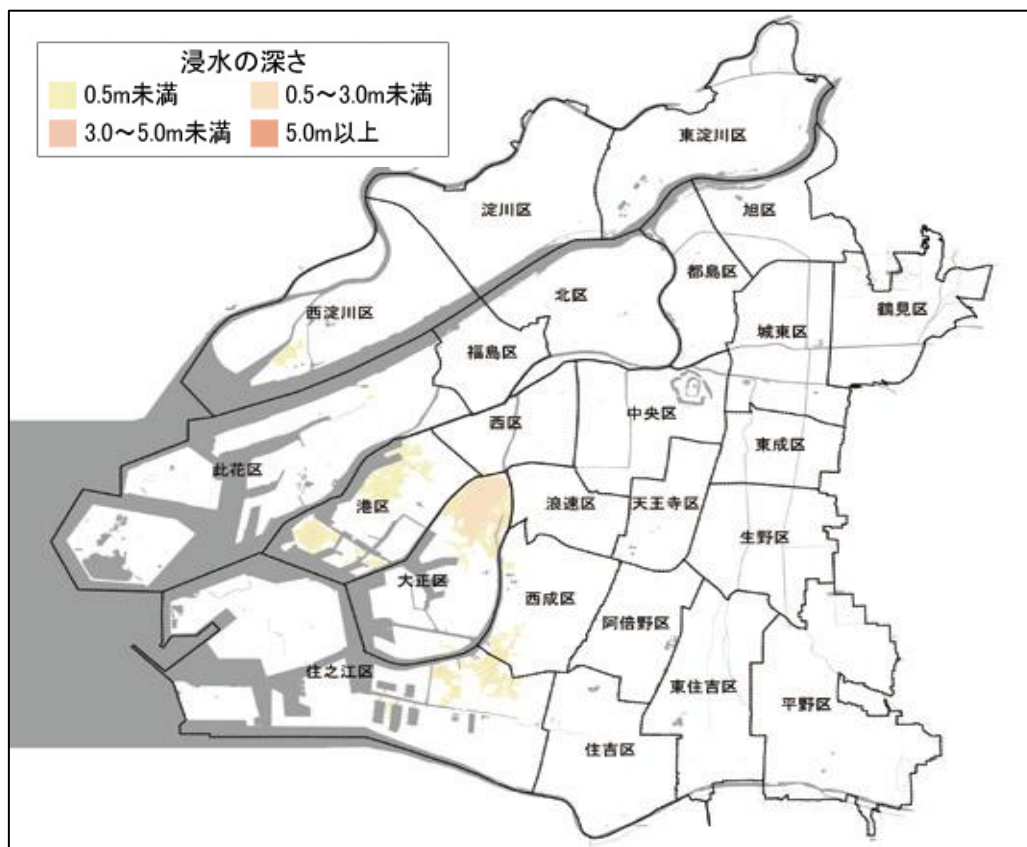
(注7)水道の被害想定は、地盤条件に基づく詳細解析により大阪市水道局で算出したものである。

(注8)津波遡上による影響を除く

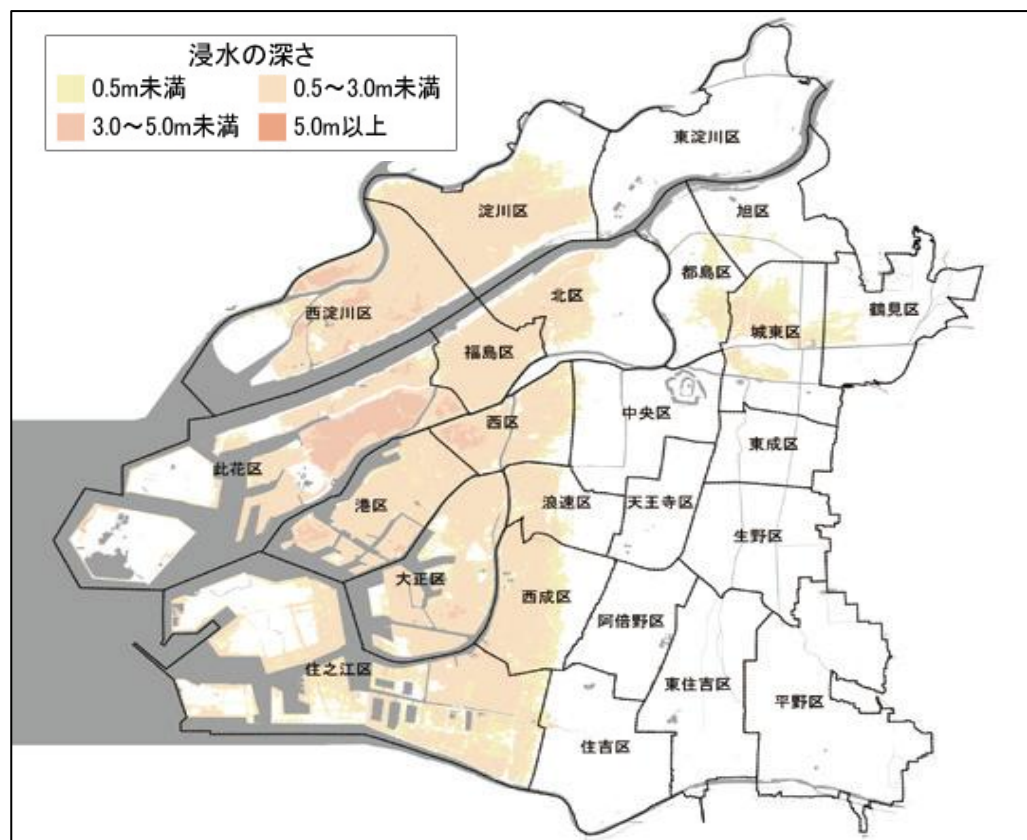
(注9)道路啓開を含め、津波による被害が解消されてからの日数

## (2) 津波

### 東南海・南海地震の津波浸水想定



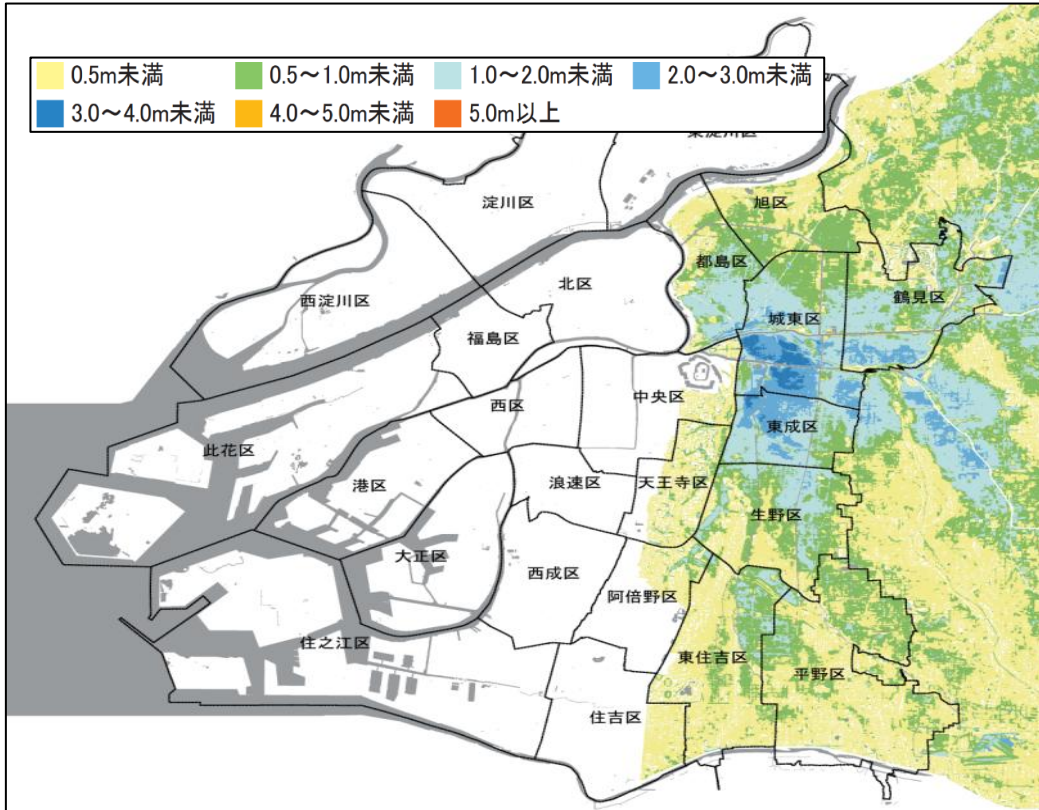
### 南海トラフ巨大地震の津波浸水想定



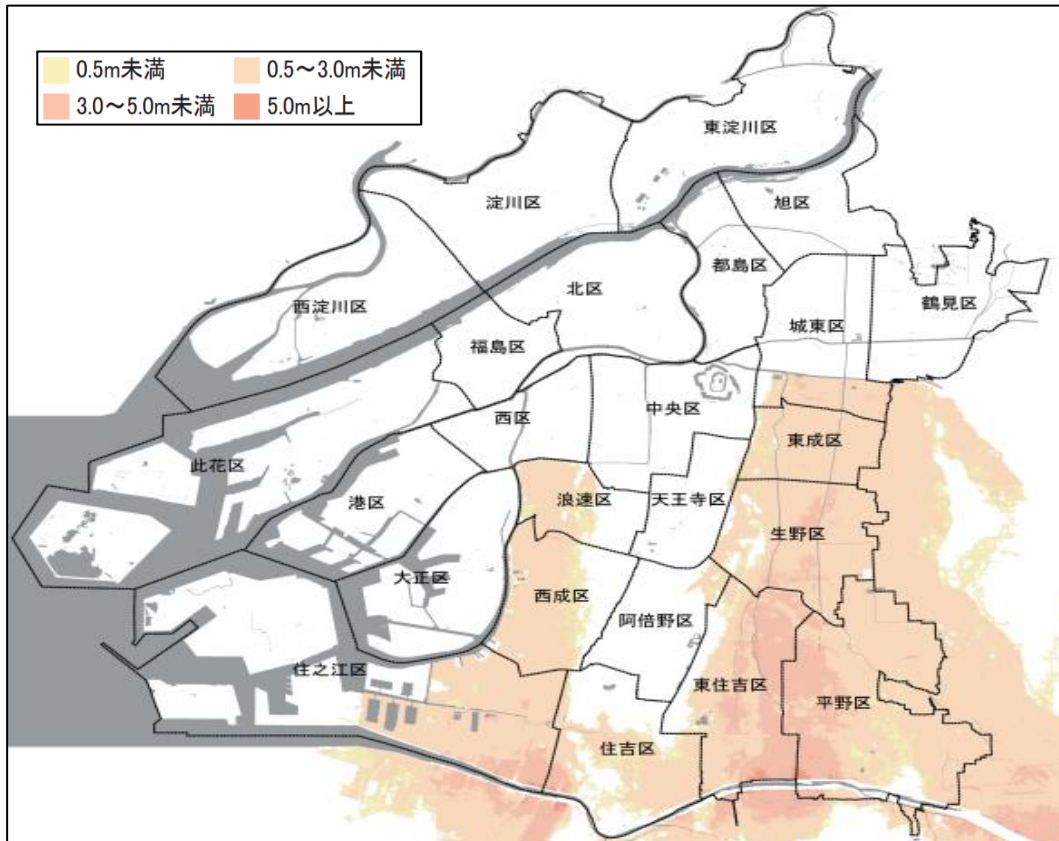
### (3) 河川氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出ることを、「河川氾濫」といいます。

平野川・平野川分水路(寝屋川水系)の浸水想定区域図



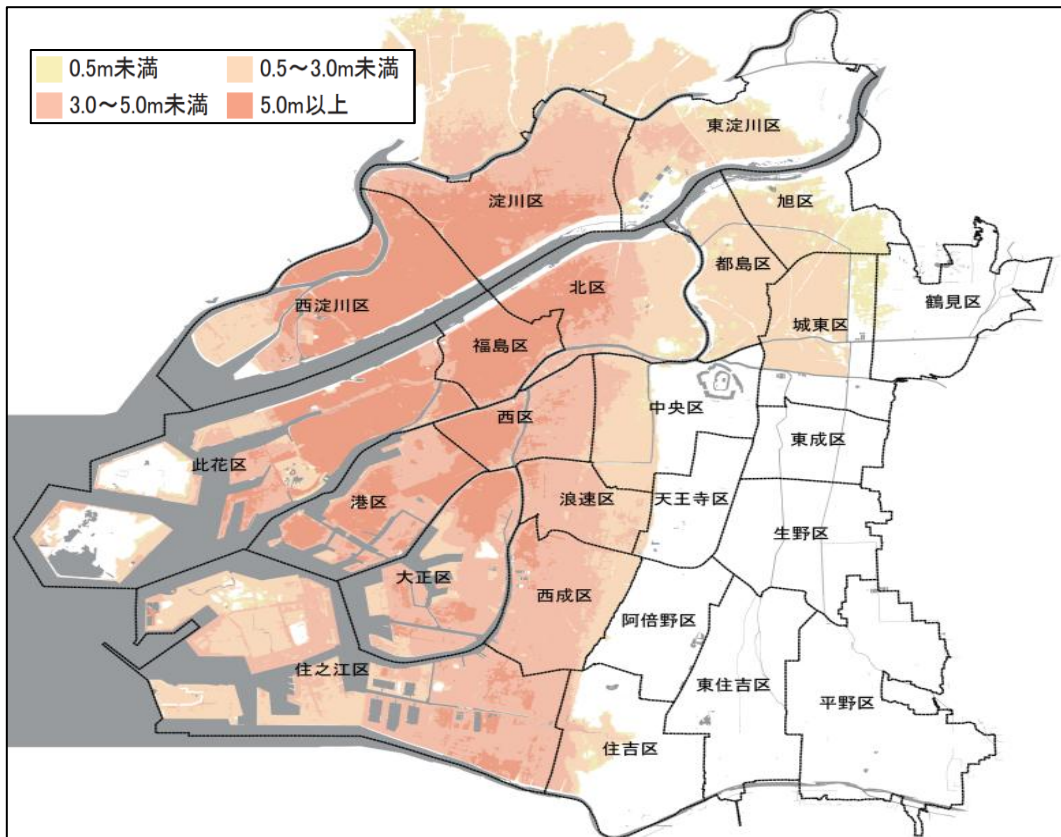
大和川の浸水想定区域図



#### (4) 高潮

台風や発達した低気圧が通過するとき潮位が大きく上昇することがあり、これを「高潮」といいます。

高潮が発生した場合の浸水想定区域図



#### (5) 避難情報

河川氾濫や高潮に対する避難情報の発令は、「警戒レベル」を用いて伝達されますが、気象台が発表する防災気象情報等の一部も、該当する「警戒レベル」に相当する「警戒レベル相当情報」として発表されます。

「警戒レベル相当情報」は住民の主体的な行動を促すための情報、かつ市町村の避難情報の発令基準に活用される情報で、「警戒レベル相当情報」が出されたとしても、市町村が避難情報を発令しないことがあります。

警戒レベル	住民に求める避難行動
警戒レベル5 緊急安全確保	災害発生又は切迫 既に災害が発生又は切迫している状況であり、命の危険があるため直ちに身の安全を確保する。
警戒レベル4 避難指示	全員避難 災害発生のおそれが高い状況等となっているため、危険な場所から全員避難する。
警戒レベル3 高齢者等避難	高齢者等避難 災害発生のおそれがあるため、避難に時間のかかる要配慮者とその支援者は危険な場所から立退き避難する。 その他の人も避難の準備を整えるとともに、以後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、必要に応じて、危険を感じたら自発的に避難を開始する。

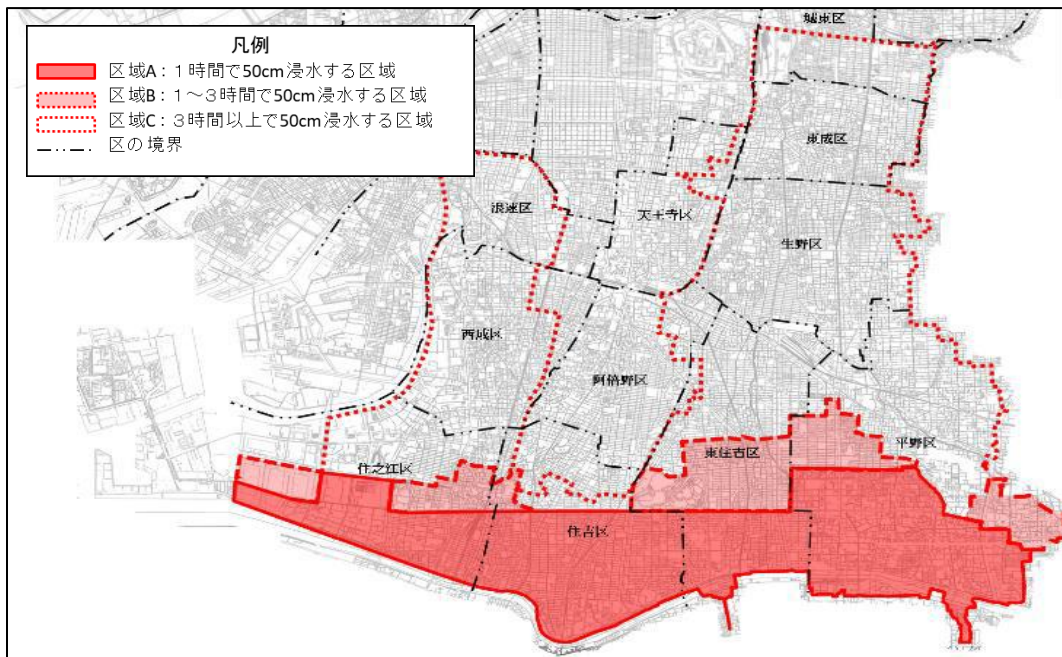
### 避難情報の発令対象区域(大和川)

対象区域は、河川管理者が指定・公表している「浸水想定区域図」において、床上浸水以上が想定される浸水深 50 cm以上の範囲を基本とする。

区域A:大和川が氾濫した場合に1時間未満で浸水するおそれがある区域

区域B:大和川が氾濫した場合に1時間～3時間で浸水するおそれがある区域

区域C:大和川が氾濫した場合に3時間以上経過して浸水するおそれがある区域



### 大和川避難情報の発令区域C

区名	区域C 町丁目名
住之江	柴谷、緑木、北加賀屋、西加賀屋、中加賀屋、東加賀屋1～3丁目、粉浜西1,2丁目、粉浜1,2丁目
住吉	東粉浜、上住吉、万代6丁目、万代東4丁目、南住吉1丁目、長居西2丁目、長居3丁目
東住吉	山坂2～5丁目、南田辺1,2,4丁目、田辺、東田辺1丁目、北田辺1,2,4,6丁目、駒川1～3丁目、西今川、桑津、杭全、今林、今川、中野1～2丁目
平野	西脇1～3丁目、平野馬場、平野元町、平野上町、平野宮町、平野本町3,4丁目、平野市町、平野東、平野北、平野南1,3丁目、加美北、加美正覚寺、加美東、加美西、加美鞍作、加美南、長吉出戸1～5丁目
西成	北津守、津守、南津守、北開、中開、南開、出城、長橋、鶴見橋、旭、梅南、松、橘、千本北、千本中千本南、玉出西、玉出中、玉出東、潮路、花園南、岸里、岸里東、天下茶屋
浪速	幸町、木津川、桜川、湊町、立葉、稻荷、久保吉、芦原、塩草、元町、浪速西、浪速東、大国、敷津西、敷津東、難波中1,3丁目、戎本町
阿倍野	天王寺北、天王寺南、三明町、美草園
天王寺	東上町、筆ヶ崎町、味原町、下味原町、舟橋町、玉造元町
生野	全域
東成	全域
城東	森之宮、中浜、東中浜、永田2～4丁目、諏訪

避難情報を発令する目安となる観測基準点の水位

大和川

観測所	所在地	観測基準点における大阪市域で危険となる水位(換算水位)		
		警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
		高齢者等避難避難	避難指示	緊急安全確保
		警戒レベル3 発令準備水位	警戒レベル4 発令水位	警戒レベル5 発令水位
柏原 (かしわら)	柏原市 大正2-10-8	4.96m	5.54m	6.69m

寝屋川、第二寝屋川、平野川、古川

河川名	観測所	所在地	観測基準点における大阪市域で危険となる水位 (換算水位)		
			警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
			警戒レベル3 発令準備水位	警戒レベル4 発令水位	ポンプ運転調整水位 警戒レベル5発令水位
寝屋川	京橋	都島区 片町1丁目	3.14m	3.32m	3.50m
第二寝屋川	昭明	城東区 諏訪町	4.25m	4.55m	4.85m
平野川	剣橋	東成区 玉津3丁目	3.92m	4.16m	4.40m
古川	桑才	門真市 北島849番地	3.30m	3.40m	3.67m

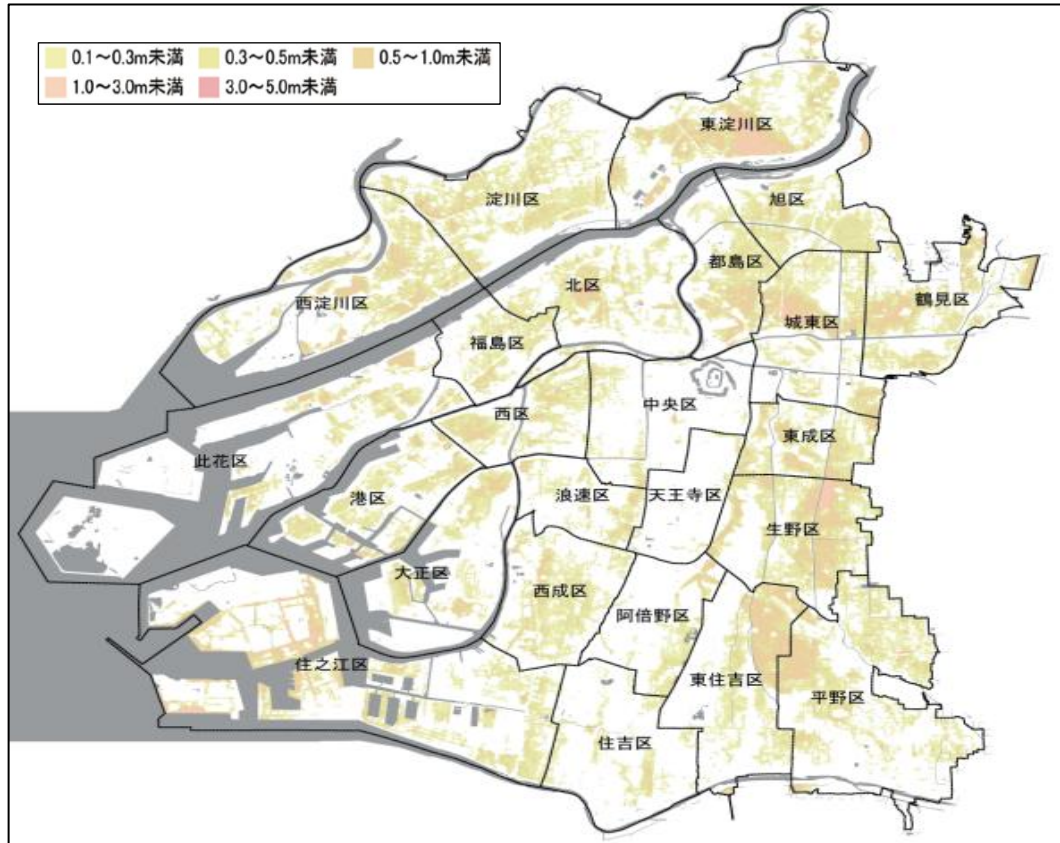
平野川分水路

河川名	観測所	所在地	観測基準点における大阪市域の危険箇所の水位 (換算水位)		
			警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
			警戒レベル3 発令準備水位	ポンプ運転調整 30分前水位 警戒レベル4発令	ポンプ運転 調整水位 警戒レベル5発令
平野川 分水路	今里大橋	東成区 大今里南	3.40m	3.85m	4.63m

## (6) 内水氾濫

河川の堤防の内側(市街地など)に降った雨水が、下水道や排水路の排水能力を越えてしまい、地面に溜まってあふれ出し、浸水することを「内水氾濫」といいます。

### 内水氾濫の場合の浸水想定区域図



## (7) 強風による災害

既往最大風速を記録した室戸台風(風速29.8m/s、最大瞬間風速60.0 m/s)が来襲した場合を想定する。